

岐阜県家庭教育学級実践事例

在宅取組型(中学校)

学校名等	輪之内町立輪之内中学校
実施日時	令和6年7月20日~8月27日(夏季休業期間中)
会場	各家庭
参加人数	1年生徒(93名)及び保護者 2年生徒(85名)及び保護者
学習課題(分野)	(1年)親子で料理に挑戦しよう。 (2年)親子で情報モラルについて考えよう。
運営者の願い	(1年)「親子レシピ」の取組を通して、親子のコミュニケーションを図る。 (2年)「親子情報モラル新聞」の作成を通して、各家庭で生徒の情報モラルの向上を図る。

学習の内容

<1年「親子レシピ」>

①「A うちの自慢レシピ」「B スイーツレシピ」「C レンジ・炊飯器レシピ」のテーマから1つを選択し、親子で取り組んだ。

【料理例】

右の作品例は、「A うちの自慢レシピ」として作った、「牛肉の麻婆チャーハン」と「炒めナスのみそ田楽」の2品である。



【うちの自慢レシピ】

②PTA 子育て委員会を開き、作品の掲示作業をした後で、優れた作品について「PTA 会長賞」「校長賞」「優良賞」「特別賞」を決定し、夏休み明けの全校集会で表彰した。

【親子レシピの感想】

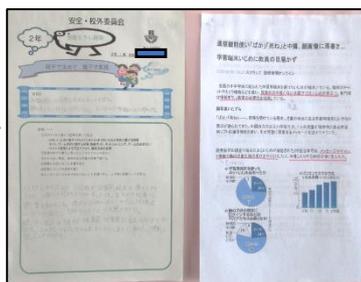
- 調理器具を正しく使ったり、火の強さを調節したりして、自分的に満足 of いく料理ができてよかったです。(生徒)
- 親子で楽しく取り組みました。なかなか一緒に料理を作る機会がないけど、時間を作ってまた一緒に料理がしたいです。(保護者)

<2年「親子情報モラル新聞」>

①夏季休業期間に各家庭で「親子情報モラル新聞」を作成して、親子で話し合いを行った。

【題材例】

右の新聞を書いた生徒は、「必要な時だけ時間を決めてネットを使う。」「顔の見えない相手を信用しない。」「成人するまで保護者の元で使用します。」という宣言を立てている。



【情報モラル新聞】

②PTA 安全・校外委員会を開き、作品の掲示作業をした後で、優れた作品について「PTA 会長賞」「校長賞」「優良賞」「特別賞」を決定し、夏休み明けの全校集会で表彰した。

【親子情報モラル新聞の感想】

- 使い方によっては誰もが被害者、加害者になる可能性があります。だから、情報モラルをよく学び、正しく、楽しく、便利に使っていきたいです。(生徒)

<取組の成果>

- 情報モラル・親子レシピともに、どの家庭も前向きに取り組むことができた。
- 普段できない親子のコミュニケーションを深めることができたことはよかった。



作品の共有

たいへん素晴らしい作品が多かったので、委員の方だけではなく、他の保護者にも各家庭での取組を知ってもらえるように、校舎内にしばらく掲示をし、保護者が来校した際に見ることができるようにした。

